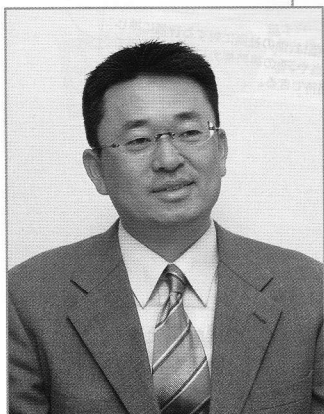


山本憲明

さん

Noriaki Yamamoto



Profile

山本憲明税理士事務所
税理士

1970年生まれ。兵庫県出身。早稲田大学政治経済学部卒業。卒業後、横河電機に入社。5年間の技術畑勤務を経て経理部へ異動を希望、税理士を目指す。2003年、税理士合格。2005年1月、独立開業。開業前からメルマガを配信するなど、画期的な手法で顧問先を拡大。著書に「働きながら3年で! 税理士最短合格の時間術・勉強術」(インデックス・コミュニケーションズ)



◇フル勤務ながら4年で税理士5科目合格

高校3年の夏に部活を引退してから大学受験を始め、なんと11戦11勝。試験勉強が特技だと自負しています。とはいえ、学生時代に資格に縁があったわけではありません。大学卒業後、横河電機に勤務し、5年ほどで自らの進む道を模索し始めた私は、いろいろな道を探る中で自分の特技が受験勉強であることを思い出したのです。そこで、自分が資格試験が得意、数字に強い、サラリーマンであるよりも独立開業したいという3点を考え、税理士を目指そうという結論に至りました。29歳で簿記3級からスタート、4年間で税理士5科目に合格できたのです。

★資格取得の理由

「特技が試験勉強、数字に強い、独立開業したい」、以上3点で税理士にしようと思いました。

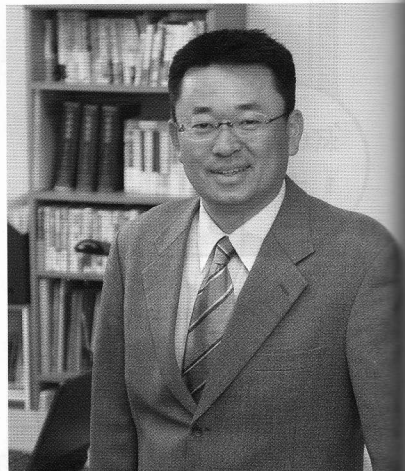
◇規模拡大より質の充実を目指す

税理士を目指そうと考えた私は、自ら希望して経理部に異動し、退職するまで決算短信や有価証券報告書の財務諸表の作成、連結決算レポート、法人税・消費税・地方税の申告を担当しました。経理の仕事は常にプラスになり、受験勉強は仕事上プラスになるという嬉しいシナジー効果が生まれました。仕事を覚えるために会計事務所への転職も考えましたが、大手企業での安定的収入があったので、あまり例のないパターンかもしれませんが、税理士登録をした年に横河電機を退社し、翌年34歳で独立開業することに決めました。

実際の独立時期を2005年1月と決めたのは開業半年前。その頃からホームページを自ら立ち上げ、メルマガを配信し、セミナーに参加し、いろいろな方に会い、勉強して独立開業に向けて周到に準備を始めました。会計事務所の勤務経験がないので、年明けから先輩の事務所へも週1ペースで通い、確定申告等、税理士業務を営む上でのノウハウも学びました。結果、開業初月から売り上げ69万円を達成するという、順調な滑り出しとなったのです。開業3カ月で顧問数は13社となり、2年経った現在、顧問数は法人個人併せて約50社と成長することができました。

業務内容は基本的に月次顧問、税務申告等の税務業務中心ですが、これからの課題として財務的アドバイスなどコンサルティング業務にシフトしていきたいと考えています。

現在、会計士1名、税理士1名、スタッフ4名で、50社の顧問先に対応しています。お陰様でかなり順調に拡大していますが、いたずらに規模の拡大を狙うのではなく、お客様を大切に、小さいながらも質の高い事務所を目指していきたいという思いが溢れています。まずはお客様にできるだけ自計化をしていただき、上がった数字を使って経営コンサルティングを行うことがメイン業務となるように、事務所の内外の質の充実を図っていきたいですね。



★資格取得のメリット

基本的な税務業務だけでなく、財務的アドバイスができるのも税理士です。顧問先によって安定収入を得られるのも魅力です。

独立開業

ベースとなる税務業務から
財務的アドバイスにシフト。

◇社会経験を積みながら税理士に挑戦してほしい

今後の夢として、個人的には会計事務所とは別の組織を起業し、会計事務所を経営的基盤として、新しい分野に挑戦してみたいという思いがあります。

数ある資格の中でも、税理士は顧問契約による継続収入の多い、収益性の高い資格です。企業経営に必要な資格なので、今後も間違いなく需要があるはずです。みなさんは、税理士という資格がもし本当に必要だと思うのであれば、まずは試験に合格することを第一目標としてください。目指すならばとことんやっただけがいいでしょう。勤務しながらだとつい「忙しい」を言い訳にしてしまいがちですが、逆に勉強だけに専念しようと刺激がなくなってしまいます。合格するためには工夫して仕事をこなし、受験勉強の時間はきちんと確保する努力が必要だと思います。科目合格制の税理士は少しずつ取れる資格なので、ぜひ実務の勉強をしながら、社会経験を積みつつ挑戦していただきたいですね。

★アドバイス

合格を第一目標に、目指すならとことんやっただけ。科目合格制の税理士なら実務の勉強と社会経験を積みながら目標達成できます。ぜひ挑戦してほしいです。